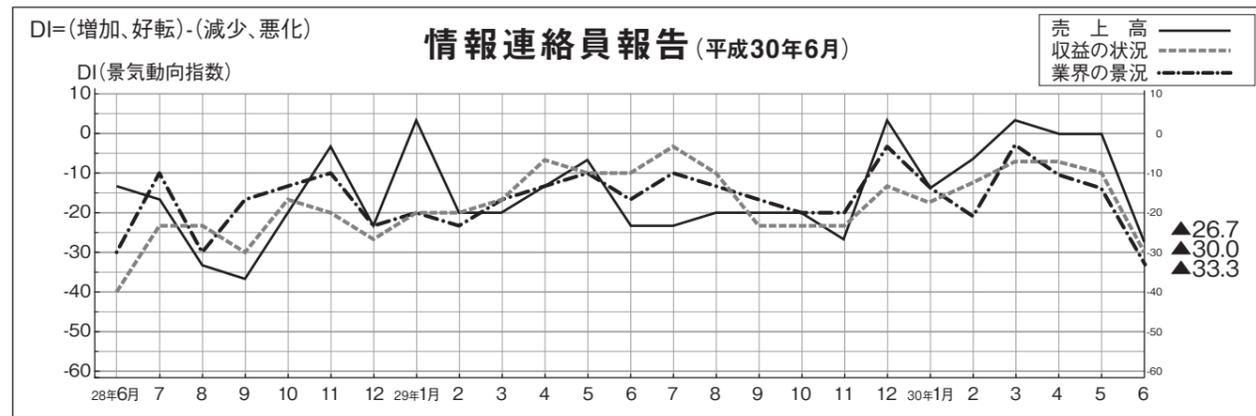


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向 2018年6月(前年同月比)



業界の状況 ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>食品製造業に対する製造環境・管理調査(工場検査)の基準がHACCP導入に向け活発に行われるようになり、工場等の改修や従業員への社員教育が求められるなど、改善対策が必要となっている。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>当月出荷量は前年同月比87%であったが、地域差が大きい。</p>
<p>酒類製造</p> <p>都市圏での競争激化。県内は相変わらず不調であるが、県外出荷もやや鈍化状態。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は前年同月比58%。市況は、減少状況が続いている。</p>
<p>テントシート</p> <p>通常年度の環境に戻った感がある。</p>	<p>機械団地</p> <p>昨年同期の水準は下回るものの、引き続き高い売上を維持する企業や、短期的に受注が重なり売上が伸びた企業もあり、団地内の業況は全般に横ばいで推移している。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>スギ、ヒノキ共に搬入量は横ばい。価格については、スギ大径材が1割程度の低下。ヒノキについてはほぼ横ばいの状況。</p>	<p>刃物製造</p> <p>相変わらず、需要に対する供給難がこの業界の問題点である。できるだけ早い技術者の育成が望まれる。多忙の生産者からの値上げ話も出始めている。</p>
<p>製材</p> <p>梅雨の影響もあり多少落ち込み気味であるが、現状維持の状態が続いている。</p>	<p>船舶製造</p> <p>新規受注は低調だが、操業は高い水準で推移している。</p>
<p>製紙</p> <p>稼働率にそれほど変化はないが、製品値上げが十分浸透しない為、収益面で苦戦している。夏場の不需要期でもあり、値上げ交渉が難航、厳しい状況が続いている。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>6月の製品会取引高は、前年同月比41%であった。特に業況に変化はなし。</p>
<p>印刷</p> <p>県内需要は官公需低調、民需は昨年並み。県外需要は業種によって好不調が有り、押し並べると前年並み。官公需低調が響き若干前年割れとなっている。</p>	<p>卸団地</p> <p>採用難は続いているが、景気回復は感じられない。人手不足の影響で、新規業務への着手が遅れることが多くなった。価格改正により売上げは増えているが、あまり良い業況ではない。</p>

<p>青果卸売</p> <p>野菜は、前年同月比で入荷減の価格低下。果実は、入荷量が前年同月比90%と大幅に減少したが、平均キロ単価は103%と微増に留まった。4月からの悪い流れが3ヶ月連続となっている。</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>総会シーズンのため、夜の飲食店には多少恩恵があったと思われる。駅前にビジネスホテルが新設されたこともあってか、観光客の流入も一定数あったようだ。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>大ぶりのカツオは少なかったが、小ぶり、中くらいのカツオは入荷があった。小物は悪天候のため、入荷が少なかった。マグロの入荷も少なかった。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>維新博企画にあわせたグループ、団体旅行の減少や、特定日に集中する顧客の動向が平日の稼働に大きく影響している。5月開業の県外大型ビジネスホテルと既存施設の競合は厳しい。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>中心商店街にあるドラゴン広場で一番集客力のあった飲食店が抜け、空き店舗になっており、新しくクレープ店がオープンしたものの、少し寂しい状況となっている。</p>	<p>飲食店</p> <p>平年より早い梅雨入りと雨天の影響で、全体的に集客が少なく景況は悪化した。県外観光客も例年に比べて少なく、業種により集客減に拍車がかかった。天候の影響もあり、先月からの不調を引き継いだ感がある。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>原油価格はOPEC(石油輸出国機構)のウィーン総会において減産緩和で合意した。市場の受け止め方は「想定範囲内」が大勢を占め、合意後の価格動向は小幅な下落に留まった。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合クーポン売上前年同月対比121%、全旅クーポンを加味して124%。前月に引き続き、売上は回復傾向だが、次月以降の売上については自然災害等楽観視できない。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>全体で前年比98%。特に悪いのはテレビで、前年比70%。エアコンは前年比112%。白物家電は全体で101.5%。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>公共土木生コン出荷量は、前月比123.6%、前年同月比87.1%。平成30/4~30/6累計においては前年同月累計対比84.3%の水準。工事請負金額は前年同月比で121.2%、前年対比累計金額では100.1%。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>前年度より良かった販売店と悪かった販売店の差があった。全体的にはあまり変化は見られない。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引込線関連の工事量は、+46%の前年比146%となった。高知中央、香長、中芸地区の伸びが要因である。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>前年度より良かった販売店と悪かった販売店の差があった。全体的にはあまり変化は見られない。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>組合事業は前年とほぼ変わらず推移しているが、燃料価格は高値のままでも組合員事業者の経営を圧迫している。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比110.4% 台数:前年比108.1%。今月は6隻の外国客船入港があり、免税一括カウンターでの売上は前年比179%であった。</p>	<p>タクシー</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:99.9%、輸送回数:100.4%。当月の実働率は68.0%。</p>

あなたの挑戦のそばに
三井住友海上はいつもいます。

安心のゴールキーパー **GK**

立ちどまらない保険。
MS&AD
三井住友海上
www.ms-ins.com

クルマの保険
すまいの保険
ケガの保険

MS&ADインシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Stripes logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.